ベストクラス選定理由書

作成者：森亮太・松﨑桃子・小倉知華・森本大介・中野晄・岡﨑由昂・上山賢太郎・永田智子

科目名称　　社会心理学に基づく学級経営の実践開発（昼間（他コース専門）） （担当教員名：竹西亜古・金綱知征）	
課　　程　：　大学院（専門職）	開講時期　：　後期
授業形態　：　講義・演習	授業規模　：　３０人以下
インタビュー対象教員名　　竹西亜古 （実施日時：7月12日；　実施場所：言語棟626）	
インタビュー対象受講者名　　北村宏規・中川清博・惠美雅哉 （実施日時：7月24日；　実施場所：Zoom上）	

選定理由

この科目は受講生による授業評価で、多くの高評価が寄せられていた。

また担当教員へのインタビューにより、以下のような点に留意しながら授業づくりを工夫している様子がうかがえた。

1. 研究している社会心理学の知見で話すことによって、講義を受けている現職の先生方の実践への応用に繋がるようにしている。自身の話の内容が実践に融合されるようにリフレクション課題を設けている。
2. 社会心理学の話を知らない人にもおもしろさを伝え、安心できるようなコミュニケーションを構成するために、聞いている人がどう思ってくれているのかを常に頭におくようにしている。
3. 自分の言いたいことや話したいこと、伝えたいことを伝えるため、いつも相手の立場に立って、一方的ではなく、どのような順番で話をしていったら、一番間違いなく知識が得られるのかを考え、自分の話していることをフィードバックしている。
4. 一話完結のストーリー（講義）のなかで、最後の疑問がそのまま解決するのではなく、「来週もご期待」みたいに講義の流れを持って行くことを大切にしている。

こうした担当教員の取組に対し、受講者へのインタビューでは、以下の点を高く評価する様子がうかがえた。

1. 学生のモチベーションを上げるための授業内容の工夫
   具体的に生活に置き換えて説明しており、納得のいく具体例を出すことで、学生は授業内容をより分かりやすく理解でき、授業内容の理解度が深まるような工夫がされている。
2. 学生の経験を活かした授業展開
   授業の最後にグループワーク演習が盛り込まれており、その際学生自身の経験が積極的に授業に活かされる工夫がされている。
3. 疑問が解消できる授業のやり方
   聞きたい事が解決できる授業になっており、授業で疑問を持ったことを授業内で解消でき、学生がより主体的に授業に参加できる工夫がなされている。

以上のことから、本授業を令和６年度「ベストクラス」として推薦する。